

ハイチ共和国はどんな国？

絵画展

# ハイチの誇りと希望

多様な文化が調和するハイチ共和国

キャンパスの詩人達との出会い



2019 2/18<sup>(月)</sup> - 2/23<sup>(土)</sup>

ギャラリー菊 (大阪市北区 老松通り)

11:00~18:00 (土曜日 16:00 まで)

入場無料

主催:ハイチの会

中米カリブ海にあるハイチ共和国は、コロンブスの到来後スペインやフランスの植民地でしたが、1804年に独立を宣言し、世界初の黒人共和国となりました。いつの時代にも数々の困難を抱え、その中を生き抜いてきた彼らを支え続けているもの、それは誇りと希望です。明るくて繊細なタッチで、喜怒哀楽、切望、憧れ、日常などを描いた絵の中に、私たちはそれらを感じ取ることができるでしょう。ぜひハイチの素晴らしさに出会ってください。



## 道にも壁にも家にも **ハイチ絵画**

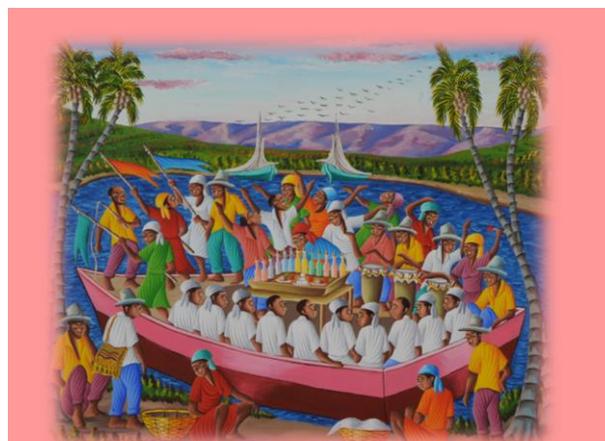
が溢れるハイチではどこへ行っても「絵を買わないか」と声がかかります。ハイチ絵画は人間の生活の在り方、自然の美、驚き、幸せの在りかを素直に語りかけてくれます。私達人間もこの地球上に他の生命体と共存しているという思考をベースにできているのが、ハイチ絵画だと感じます。アンドレ・マルローが絶賛した「最高の画家たちの住む国」の魂はいかなる状況下でも脈々と生き続け、いかなる困難のもとでも彼らの哲学と詩性はキャンパスの上で輝きます。欧米ではハイチ素朴画の名声は高まるばかりです。

**ハイチ共和国** ニューヨークから4時間弱のフライトで着く中米カリブ諸国の国。四国の1.5倍ほどの広さに約1,000万人が生活しており、そのうち65歳以上が3%という若者の活躍が期待の国です。

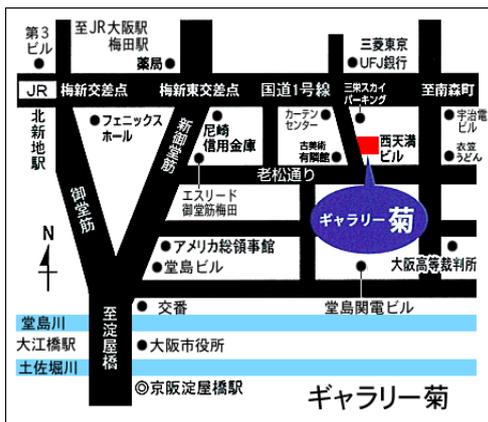
多様な文化が絶妙に調和しており、言葉、料理、信仰など、原住民だけではなく支配者たちの残した習慣をも受け継いでおり、人々の親切心や洗練された感覚はクレオールがもつ魅力です。



- 18日(月)16:00 絵画作品の紹介
- 21日(木)18:30 バイオリンコンサート  
19:30 パーティー
- 23日(土)13:00 ハイチ太鼓 ライブ(Ryo Mizoguchi)



私がここ **ハイチの会** にいる理由は「農業で今日の命を守り、教育で明日のハイチを育てる」という想いに共感したからです。私もハイチを知らないひとりでした。今はハイチを知ろうとするひとりになりました。同じ地球に生きているのに1日1食の人もいれば、学校に行けない子どももいます。私達はそんな彼らを応援しています。



## ギャラリー菊

〒530-0047  
大阪市北区西天満 4-9-2  
西天満ビル 1F  
TEL / 06-6314-0907

【問合せ】  
ディオジェン岡智子  
TEL 090-1139-6924

【後援】大阪府 大阪市 JICA 関西 とんだばやし国際交流協会